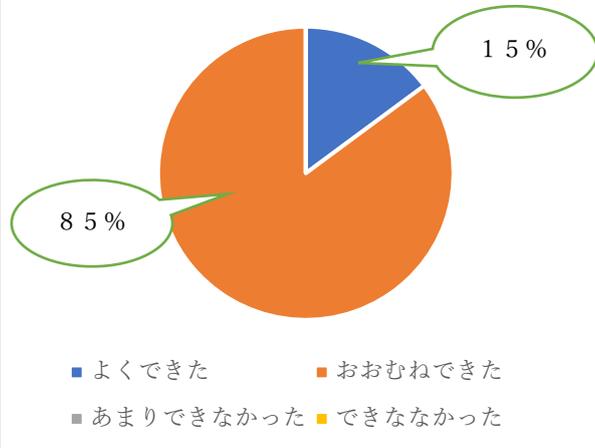
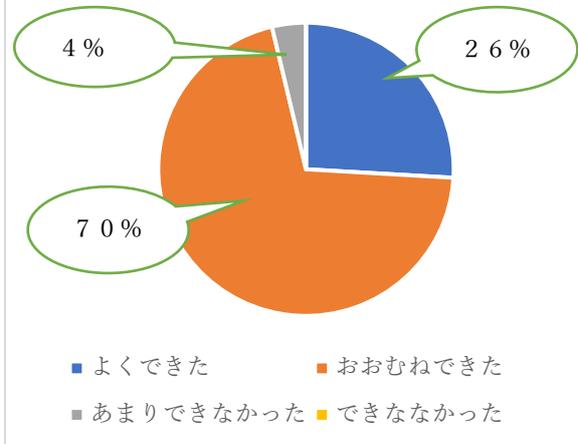


令和7年度 教職員学校評価

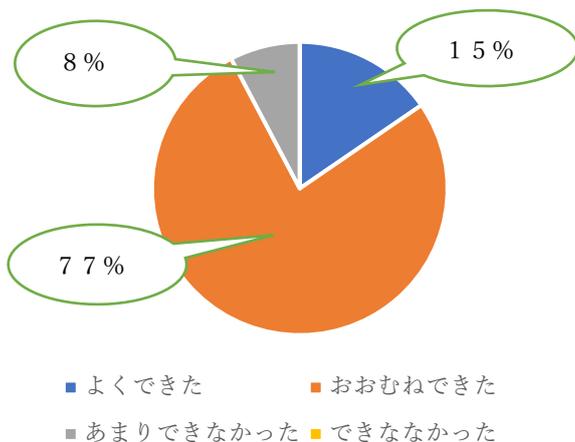
「自ら学び思考し表現する子」の育成



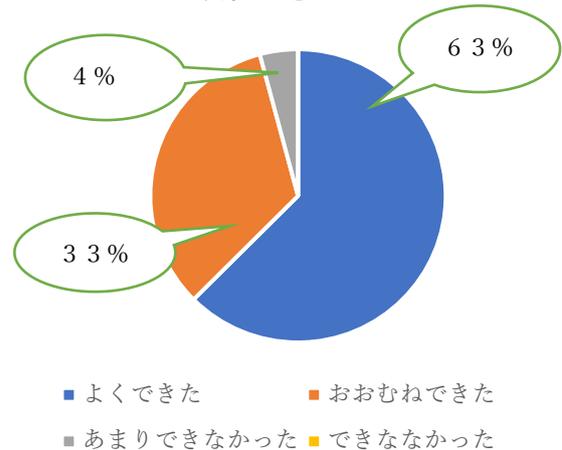
「思いやりある心を育て人にやさしくする子」の育成



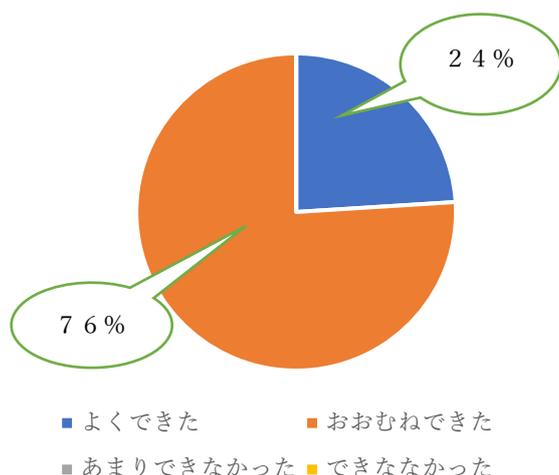
運動に関心をもち健康な体で最後まで頑張る子の育成



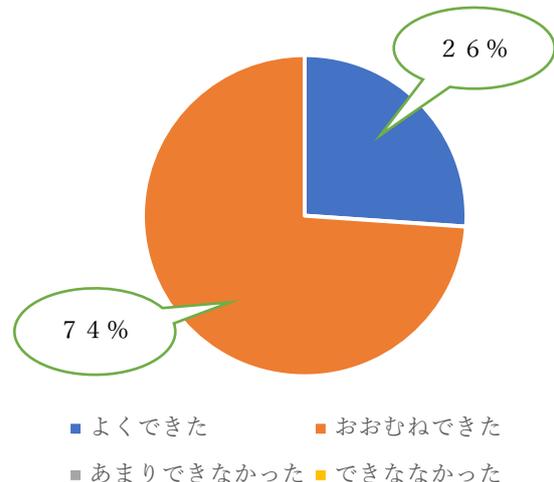
週プログラムは効果的に活用できたか



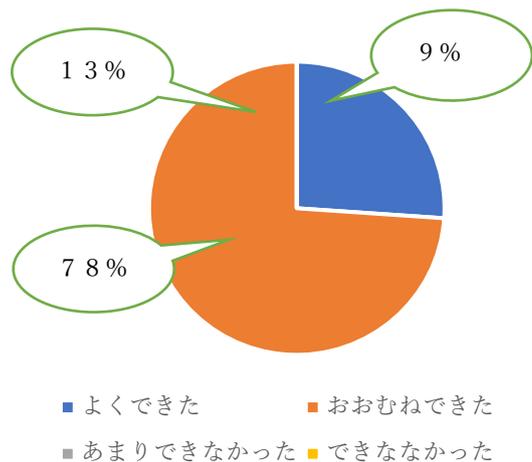
全校的な視野に立って個々の児童の指導にあたれたか



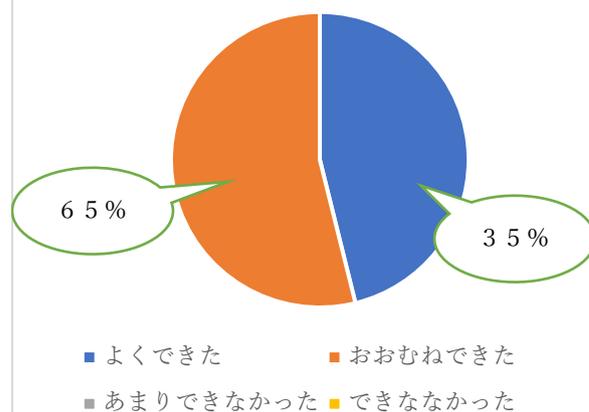
指導計画を基に主体的・対話的な授業を展開できたか



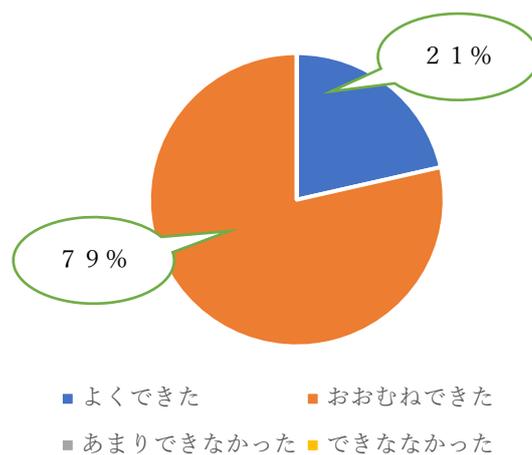
英語教育の目標を理解し意欲的に指導に取り組めたか



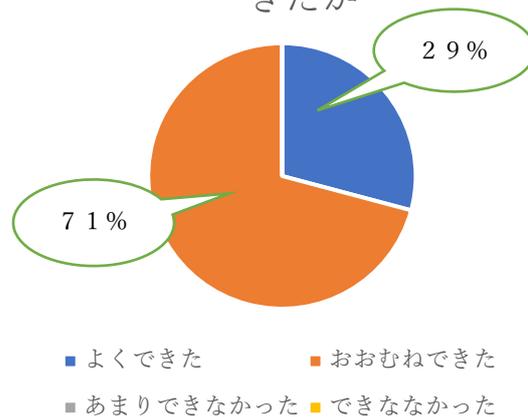
安全点検を確実にを行い、安全指導が適切に行われたか



校舎内外の環境整理に積極的に取り組んだか



衛生面・安全面・マナーについて考えた給食指導ができたか



(成果と課題)

- ・昨年度の数値と比較すると、どの項目においても「よくできた」という評価が増え、「よくできた」「おおむねできた」を選択した職員が大半を占めている。昨年度以上に職員が意識をもって業務にあたっていることが窺えた。学校教育目標が達成できるよう、知・徳・体のバランスのよい児童育成を目指し、全職員一丸となって取り組むことができた。今年度も、清掃の時間を週3日とし、火曜と木曜は清掃の時間をなくしその分午後の授業を繰り上げ下校時刻を早めた。また大きな行事前日やクラブ委員会のない水曜日は5校時にしたことで、教職員に教材研究等の時間が確保され、学習活動の充実に繋げることができた。行事においても、海神小オリンピックや音楽会等、全校児童が心を一つにする行事を充実させることができた。今年度も全学年校外学習や外部講師による出前授業等、学習内容をさらに充実することができた。
- ・次年度も、さらに学習活動の充実と、指導力の向上のため、教材研究の時間の確保が必要であるとする。そのためにも各教科の教材室の整理や教具の点検等、確実に高い質の学習活動に繋げていく必要がある。